

# 踏み跡 <My Mountains>

北アルプス	中房温泉から燕岳	No.166
-------	----------	--------

この山行は、当初計画では表銀座を縦走して槍ヶ岳から槍沢を下り上高地へというものだった。  
ところが雨で停滞を余儀なくされ、中房温泉からの往復に留まった。同行は恩田と鶴飼という久しぶりの組み合わせ。

## 昭和46年5月3日 出発→有明→中房温泉

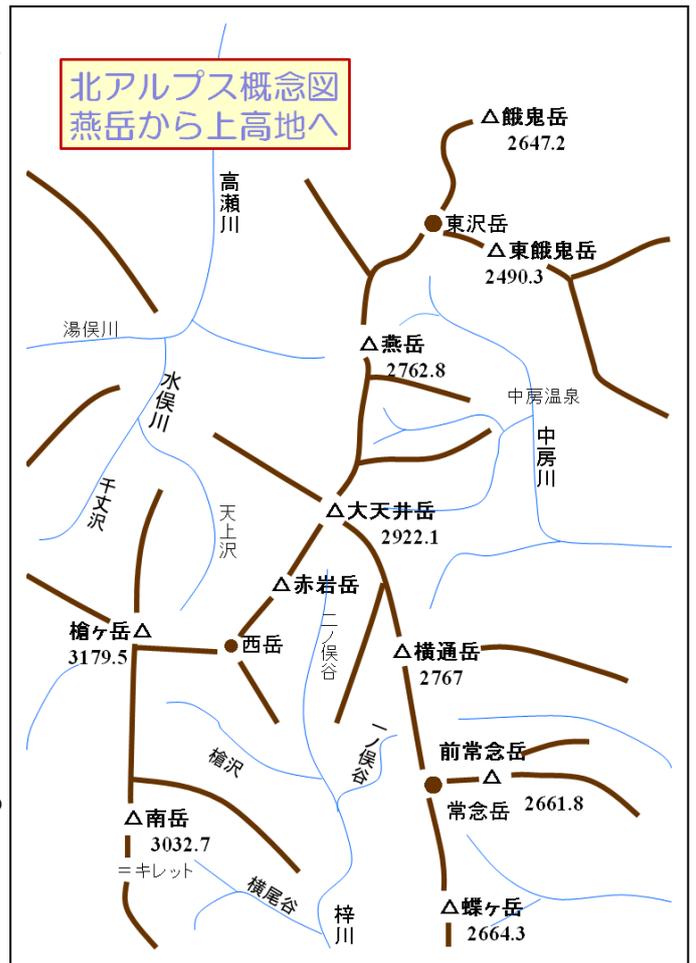
東京は晴れ、珍しいことに13時発の「あずさ3号」という遅い出発。今日は入山だけなので。松本16時42分、曇り。大糸線に乗り換えて、17時58分有明に到着。  
有明駅から中房温泉まではタクシーを利用したように覚えている。タクシーの前を走り抜けるうさぎの毛がもう夏色（茶色）に変わり始めていた。  
国民宿舎有明荘に入り、大部屋を素泊まりで使わせてもらう交渉が成立。（一人700円）

## 昭和46年5月4日 中房温泉（雨で停滞）

朝から本格的な雨のため停滞することにした。後日のための食料を減らすことなく停滞するには少食の一日を過ごさねばならない。これは大食いの山屋にはかなりの苦行である。  
終日大部屋でごろ寝をしながら雑談。  
運動不足な一日ではあったが、体力温存効果を期待。

## 昭和46年5月5日 中房温泉→合戦小屋→燕岳→燕山荘

雨はあがり、曇り空。駒を先へ進めることにした。  
9時45分出発。すぐに合戦小屋までのきつい登りが始まった。第一ベンチまで50分で到達。わずかな休憩時間で呼吸を整えて、第二ベンチに11時着。  
日があたらない5月の山は肌寒いし、景色が見えない侘しさもある。  
合戦小屋（海拔2450m）12時55分着。高度差1150mを登ってきたことになる。  
一時間余かけて昼食付きの大休止。周りの景色が見えてはきたが、曇り空には変わりはない。  
合戦小屋から1時間50分で主稜線によりやく出た。中房温泉を出てからもう6時間になる。  
燕山荘に荷物をデポして稜線を北上し燕岳(2762.9m)を往復。今宵の宿もここに確定。（素泊まり600円）



## 踏み跡 <My Mountains>

昭和46年5月6日 燕山荘→蛙岩→為衛門吊岩→燕山荘

5時起床、曇り空で昨日と同じように景色が楽しめる空模様。

先へ縦走するのは中止にしたので、今日は大天井岳方面に向かって歩いてみるようになった。

時折見せる程度の眺望に一喜一憂しながら歩いているうちに、やがてガスに覆われてすべての眺望が奪われてしまった。時々小雪もちらついて寒い。

蛙岩、為衛門吊岩、興味をそそる名前の岩場が続くのでひとつひとつ立ち寄りながら堪能。

燕山荘への帰り道で遭難救助のお手伝いをするという初体験。(手帳に細かいメモがないので詳細は今となっては不明だが・・・) 転落して動けなくなっている遭難者を誰かが運び、私は大きなザックを二つぐらい背負ってあげたような記憶がある。燕山荘までかなり重い荷を背負って歩いたような気がする。

この協力の謝礼だったと思うが、この日の素泊まり料金は無料だった。

昭和46年5月7日 燕山荘→中房温泉→有明→帰京

27歳の誕生日の朝、5時30分起床。7時10分に下山開始。

さすがに下りは早い。一日がかりで登った道も4時間足らずで下ってしまった。

中房温泉に11時着。12時30分のバスで有明へ。

有明駅から見る眺めは、「雨の停滞」や「遭難事故」などなかったかのような、五月の温かなものだった。(右写真)

松本からアルプス8号。八王子に19時25分に帰着。

以上

